

ベジタリアンにとって日本はどんな国かな？

所属	石川県金沢市立扇台小学校	実践者	西村 学
対象	小学校4年生（25名）	実践日	2024年1月
実践教科	（道徳）	時間数	2時間
ねらい	・ベジタリアンの気持ちを考えることを通じて、誰もが安心して過ごせる社会をつくっていくためにどうすればよいか考えようとする心情を育てる。		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	1. ネパールタイム(日本語学校の様子)【フォトランゲージ】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本にいるネパール人は、 3649人(2000年)→17575人(2010年)→156333人(2023年) ・4.8倍、8.9倍…これからもどんどん増えていきそう。 ・外国人も約320万人。石川県の人口の約3倍。すごい数だ。 2. 本時の課題を確認する。 外国人が安心して過ごせる日本にするにはどうすればいいかな 3. いくつかの商品を紹介し、ベジタリアンマークを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物だけでなく、石けんにもついている。 ・どんな意味があるのかな。 4. ベジタリアンについて説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界で6.5億人もいる。 ・先生のホームステイ先のカルパネイさんもそうだったんだね。 ・ネパールのレストランのメニュー表にも必ずあったんだ。 5. もしカルパネイさん(ベジタリアン)が日本で過ごすとき、どんな困ったこと(問題)が起こるか想像する。【派生図】→【成果物の回し読み】 <ul style="list-style-type: none"> ・僕たちが普段食べるお菓子もだめかもしれないんだ。 ・食べるものが毎日同じになって日本が嫌になるんじゃないかな。 6. ベジタリアンの声を紹介し、ふり返りをする。	・日本語教室の写真や動画 ・ベジタリアンマークのある実物や写真 ・日本の食品、食品表示の写真
	2	7. 問題を解決する方法を調べ、発表する。【二次元軸】 <ul style="list-style-type: none"> ・代替卵がスーパーで買えるといいよ。 ・日本の食品にも同じようなマークをつけたらどうかな。 8. 同様に外国人が日本で過ごすときに困っていそうな事例を教師が紹介し、解決方法を考えてみる。【プレスト】→【二次元軸】 <ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教の人は礼拝、トイレでもきまりがあるみたい。 ・手で食べる人たち、左手を使わない文化もあるんだって。 9. 外国人が日本で心地よく過ごすために何ができるか、個人レベルと地域(国)レベルで考える。【できることビンゴ】 10. ふり返りを交流する。	・事例の動画
成果	教師がお世話になったホームステイ先の家族という「人」、数多くあるベジタリアンマークの商品という「モノ」、ベジタリアンの困る「コト」に出会ったことで児童が意欲的に取り組み、日本という国を違う視点で見つめ直せ、未来の日本の在り方を子ども自身が考えられたこと。		
課題	「実際に困っている人の声」をインターネットやYouTubeで紹介したが、例えばベジタリアンやネパールの方をゲストティーチャーとして呼び、話を聞くことで問題意識がより高まったと考える。次回行うときにはそのような方に来てもらい、話を伺う機会をつくり、より学びを深めたい。		
備考			